

もっと知りたい

武者小路実篤

さね あつ き ねん かん 実篤記念館の仕事

武者小路実篤は90年の生涯の中で、文学・美術・新しき村と、さまざまな活動をしました。そうした実篤を多くの人に知ってもらうために、1985年10月に記念館が開館しました。実際には、どんな仕事をしているのかな？



「こんにちは！」

みんなをまず迎えてくれるのが、受付だね。

受付では、チケットを切るほかにも、大きな荷物をあずかったり、長いカサはカサ立てに入れてもらったり、細かく気を配っているよ。

ミュージアム・グッズを売ったり、在庫を管理したり、電話での案内や、郵便物の仕分けといった仕事もあるんだ。

展示室を過ぎると、奥には閲覧室があるね。

みんなが調べものなどで分からないことが

あるときは、レファレンス係の人に質問すると、アドバイスをもらえるよ。

情報提供システムでは、展示していない作品の画像も見ることができます。

レファレンス係は、質問に答えるだけでなく、

写真を撮ったり、お菓子を食ったり、大声で話したり、ルール違反をしている人が

いないかどうか、それとなく来館者に

目を配ってあげるよ。



「^{てんじ}展示」は、記念館で集めたものや^{ひごろ}日頃の研究成果をみんなに発表する、^{ぶたい}表舞台。

作品は、ただ^{なら}並べているだけではないよ。分かりやすく、見やすくする工夫をいっぱいしているんだ。



絵の高さや^{かんかく}間隔は、一つ一つ^{はか}測って決めているよ。

^{りかい}理解を深める手助けをするために、作品ごとに^{かいせつ}解説をつけています。^{てんらんかい}展覧会によっては、パンフレットも作ります。

解説を書くためには、たくさんの勉強が必要なんだ。



作品が一番きれいに見えるように、^{かげ}影が映り^{うつ}こんだりしないように、光のあて方を一つ一つ調整しているよ。

こんなこともやってるよ!

記念館では、お絵かき、絵本作り、工作、ジャム作り…といった、たくさんの^{こうざ}講座を開いているよ。

みんなに少しでも記念館に興味をもってもらって、^{むしゃこうじざねあつ}武者小路実篤という人を知るきっかけを作るためです。これも、記念館の^{やくわり}役割の一つなんだ。

このワークシートや、ホームページのキッズコーナーなども、大人だけでなく、みんなにも記念館を利用してもらうために作っているよ。



【お絵かき講座「実篤に挑戦！」】

記念館の仕事はまだまだあるよ。考えてみよう!